

第4回 伊豆市教育振興審議会次第

平成29年12月21日 19:15～

於：市役所別館2階 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議事

1) 確認事項 課題の整理と共有について・・・資料1

2) 中学生の教育環境改善にむけた意見を聞く会の実施について・・・資料2

4、次回第5回伊豆市教育振興審議会の開催について

日 時：平成29年1月 日 () 候補日15日(月) 18日(木) 19日(金)

場 所：市役所別館2階

内 容：意見を聞く会について、適正規模・適正配置について

5、閉 会

資料 1

1) 課題等の整理

(これまでの委員の意見等を整理 ○委員意見 ☆校長先生意見)

修善寺中学校 29年度学校教育目標：こころざしをもち、仲間と共に高めあう生徒

修善寺 中学校	生徒教育環境 生活環境	教師指導環境	施設環境	部活環境
残すべき 良い点 や現状等	<p>☆市内の中学校では全校で3クラスが出始めているが、生徒の人間関係の複雑さを考えると4クラス以上が、クラス内の競いあい、クラス間の競いあい、学年間の競いあいができるので良い。</p> <p>○クラスが多く、活気がある。</p> <p>○キャロットクラブ等地域の支援体制がある。</p> <p>○4つの小学校から編成。中学にいくと、新しい友達ができる期待感があるようだ。(反面、不安感も)</p>	<p>☆20名の教員で、全教科の教員が揃うが、教科時間数の関係で調整できない授業は3名の非常勤講師で対応。(市の支援により)</p> <p>☆教師の研修に関して、全校で12クラス以上(学年4クラス)があると、複数教科の研修と相互研鑽ができる。</p> <p>英語、数学、国語、理科は教師が3名いるので相互に学べる。</p>	<p>○狩野川台風により、現在の高台の校地にと、当時の方々が思いを込めて建設した。</p> <p>☆現在の中学校に、天城、中伊豆の中学生が入るか否かの議論があるが、現校舎では学年4クラス、空き教室も英語やパソコン教室で活用し戻せない。特別支援2クラス必須。グラウンドも狭く、修善寺グラウンドも部活で使用するが、道路が狭く生徒が暗い中移動することにも問題があり、難しいと思う。</p>	<p>☆15の部活。市内の中学校では恵まれている。</p> <p>○外部指導者も熱心に指導してくれている。</p>
既に深刻 となりつ つある 課題等			<p>☆市内中学校の中では最も新しいが、「水道、電気等のインフラ」の老朽化が厳しい状況。水道漏水やトイレの環境改善も急務な状況と認識している。</p>	<p>☆部活への顧問の負担が大きい。できれば2名の顧問で、教師の負担を軽減させたいと考えている。</p>
10年後を 見据え、 必要な 対応等	<p>☆修善寺中学校は、中規模校から小規模校に移りつつある状況。学年の集団が大きいと、生徒はクラスで力を発揮する子、学年や全体の中で力を発揮する子と、生徒それぞれに力が発揮できる環境がある。今の子ども達を大事にしながら、未来に向かってどのような教育環境にするかを検討願いたい。</p> <p>○伊豆市の子ども達にどのような学びの場を設けてあげる環境を整えるのは大人世代の責務である。</p>			

天城中学校 29年度学校教育目標：夢を持ち、共に生きる生徒

天城 中学校	生徒教育環境 生活環境	教師指導環境	施設環境	部活環境
残すべき 良い点 や現状等	<p>☆生徒たち一人ひとりに発言させたり、個別の活躍の場がいろいろと設けられて良い。</p> <p>☆教師が、一人ひとりに目が行き届き、きめ細かな指導ができています。</p> <p>☆行事等については縦割り等で人間関係づくりの工夫を行っている。</p> <p>○総合学習（郷土学習）が、とても充実している。</p> <p>☆保護者や地域との連携が取りやすく、学校運営に地域の人が積極的に応援してくれる。</p> <p>○生徒は和気あいあいで、様々な生徒が発言していた。</p>	<p>○教員の工夫する力が素晴らしかった。</p> <p>☆教師がまとまりやすく、チームで生徒と向き合え、何かあればフットワークよく対応ができています。</p> <p>○先生が、教科担任外の授業にも頑張っており取り組んでくれていること、地域学習等、小規模校の良さを最大限に発揮しようと取り組んでくれている姿に頭が下がる思い。</p>	<p>○移動の動線が悪く、何をすることも効率が悪く印象。</p> <p>○トイレ環境が良くない。</p> <p>○廊下のない北側校舎</p>	<p>○部活動が限られ、希望する部活ができない状況は可哀そう。</p>
既に深刻 となりつつある 課題等	<p>☆人間関係の固定化され、自然に距離感ができてしまう。</p> <p>☆いろいろな考えを出し合う機会が少なく、お互いを切磋琢磨しにくい状況がある。</p> <p>☆校舎が広く、縦割り清掃等で小規模校の良さを生かすつつの清掃活動としているが、校舎が広く十分に清掃しきれない。</p> <p>○小中学校 9 年間同じクラスであると、「新しい友達をつくる」期待感が薄れていると感じる。</p>	<p>☆小規模校共通課題だが、先生の教材研究が大変。1回の研究が1回の授業で終了。複数学級を持てば、教えながら先生も学ぶ。</p> <p>☆3 学年に跨った指導をしている教員が多く、3 学年分の教材研究、テスト作成に加え部活等、教師の負担は大規模校に比べると大きい。</p> <p>☆1 教科 1 教師のため教師間の相互研鑽ができない。</p>	<p>☆施設の老朽化雨漏りと電気系統の整備は、緊急箇所の改修等応急措置でしのぐ。</p> <p>○校舎グラウンドが地震や集中豪雨等で被災。大きな地震への不安がぬぐいきれないし、防災拠点になり得ない。</p>	<p>☆部活動の設置が制限を受ける。</p> <p>○小学校の卒業文集には中学校で頑張りたいことに「勉強」と「部活」があるので自主的に「挑戦」する部活の充実も必要かと思う。</p>
10年後を見据え、必要な 対応等	<p>○地域学習、郷土学習はとても良い取り組みだと思った。ふるさと伊豆を誇りに思えるような環境は 10 年後、20 年後もあり続けて欲しい。</p> <p>○小規模校の良さも理解した上で、学校再編ありきでなく、中立の立場で議論を深めるべきであると思う。</p>			

その他 ☆PTA 活動について、生徒が少なく同じ保護者が何回も役員を行っている状況。

中伊豆中学校 29年度学校教育目標：学びを深め、志を持って挑戦する生徒

中伊豆 中学校	生徒教育環境 生活環境	教師指導環境	施設環境	部活環境
残すべき 良い点 や現状等	<p>☆全教師が生徒一人ひとりの顔と名前が一致し、生徒に全職員によるきめ細かな指導が行き届く。</p> <p>☆素直で真面目で思いやりの心をしっかりと持っている。</p> <p>☆地域や家庭との連携も取りやすい。</p> <p>○図書館の蔵書量、質ともに充実度は素晴らしい</p> <p>○生徒は大人しい印象、落ち着いて勉強していた。</p>	<p>○免許外教科の授業に大きな問題を感じた。特に美術は教師の配置が必要だと思う。</p>	<p>○体育館は新しく、冷暖房の部屋があり充実している。</p>	<p>○外部の指導者が熱心に指導し生徒も頑張っていた。</p> <p>○野球部、ソフトボール部、陸上部、サッカー部が同時に練習する環境は狭いと感じた。しかし、部活間で調整し工夫された練習を行っていた。</p>
既に深刻 となりつ つある 課題等	<p>☆デメリットは天城中学校と共通する点が多い。</p> <p>☆集団の中では「多様な考え方に触れる機会」や「学び合いの機会」「切磋琢磨する機会」が少ないことが気になる。</p>	<p>☆当校だけの状況ではないが、教師が少ないため、バランスのとれた配置ができない。</p> <p>☆近い将来、全校で5クラス（学年単学級）が想定。1クラス減＝教員1名減と思われるが、制度上は2名の教員が減となり、教科外担任による「免外指導」の増加を懸念する。部活動指導もより困難となる。</p> <p>○1教科1教師のため教師間の相互研鑽ができない。</p>	<p>○老朽化が進んでおり、雨漏りが気になる。</p> <p>○校舎内に段差や溝があり、バリアフリー化が必要。</p> <p>○トイレ環境は要改善。校舎に和式しかない。また、教員用トイレも外部にあり、教員にとっても、改善が必要だと感じた。</p>	<p>☆部活動の設置が制限を受け、選択の幅が狭まる。</p> <p>☆9つの部活を10人の先生（顧問）で対応。2人顧問の部活は1つしかない。</p>
10年後を 見据え、 必要な 対応等	<p>○1 学年2クラスでの集団活動としての、共同、競争意識の向上には限界があると感じた。</p> <p>○特に、中伊豆中の施設の老朽化について大きな課題があることに異論はないが、各学校共有の課題として、「教師がどれだけ生徒と向き合える時間が確保できているのか」「教師の働きやすさとは」を考えるべきではないかと思う。</p> <p>☆子供たちの成長のために、「ふさわしい学習環境や必要な能力を養うための学校生活環境」を提供しなければならない。そのためには、何が必要かをしっかりと見極め、子どもたちのために最善の対処をしていくことが、私たち大人の責務であると考えている。</p>			

市民や関係者からの

「中学生の教育環境改善にむけた意見を聞く会」について

☆はこれまで委員からのご意見や配慮すべき事項として伺っているご意見です。

教育審議会のこれまでの意見で、市民や保護者、子育て世代からの意見等を踏まえ、これからの中学校について広く意見を伺い、今後策定する答申に反映すべき点については、基本的に合意をいただいております。

今回は「意見を聞く機会」について検討願い、次回の審議会で実施内容・方法を決定したいと考えております。

☆課題を共有し、正しく判りやすい資料で「中学生の教育環境改善」に向けた意見を伺う

①目的 審議会として、今後のあり方について広く「市民の声」を聞き、「中学校のあり方」の答申に向けての判断資料とする。

②テーマ（案）中学校のあるべき教育環境について

☆教育の質（生徒・教師にとってより良い教育環境について）

☆教育環境（ハード、バリアフリー、地域との関わり、通学環境）

③実施対象 修善寺、天城、中伊豆地区民 3地区での開催を基本。

☆PTA 会員へも積極的な参加を呼びかけるほか、広報誌での開催周知をしっかりと行う実施を

④実施方法：会場に参集してもらい、審議会委員が直接市民の意見を聞くスタイル

☆学校や子ども園である第1当事者の意見をしっかりと聴取する必要がある。特に、特に育児や家事、仕事等で参加できない子育て世代からの意見聴取をする必要がある。

☆関心があってもどうすれば、意見の出し方がわからない方々の意見聴取も必要である。

☆インターネットを活用した市のHPやネット掲示板での意見集約を検討してはどうか。

⑤実施時期：平成30年2月～3月 当初の年間予定では、30年1～2月地域別分科会として予定。

⑥提示資料について 意見を出しやすくするために必要な情報とする（次回決定）

⑦その他